

2019Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ： B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ 学年： 中学3年 氏名： 市橋 愛生		
大会名	Asian&Oceanian Championship		
開催地	Mussanah Sports City, OMAN		
大会期間	2019/9/30 – 10/7		
セールNo	JPN3267	最終順位	ゴールド 55位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温(34℃～37℃)と湿度(80%)が非常に高く、日本の真夏よりも暑かった。ウエアは、ラッシュガードだけで十分でした。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	風が弱いわりに波がありました。風はだいたい基準の風向があり、それに向かって振れ戻る感じ。
セッティングで注意したこと	普段のセッティングにできるだけ近づけるように心掛けた。(ハイクアウトベルトの長さや、センターボードのストッパの強さなど。)
セーリングで注意したこと	波を越すときにしっかりと艇を起こして、出来るだけフラットにした。丁寧に乗る事を心掛けた。
海上で練習したこと	10人、又は5人でラビットスタートなど、スピード練習をした。
実際のスベリはどうか？	風が弱いわりに波があり走りにくかった。

スタートは、どうでしたか？	混雑している所から出ようとして失敗したので、空いている所からフレッシュで出るように心かけた。
コース戦略はどうでしたか？	振れは常に意識していたが、出来るだけフレッシュで走れるようにコース取りした。
自分より上位の選手との違いは？	上り角度が自分よりあった。
国内の練習で役立ったこと	走りにくい位置でも我慢して走る事。
国内の練習で足りなかったこと	スタート練習。
印象に残った外国選手は？	タイの選手。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	外国の選手とのコミュニケーションを取るためには、もっと英語が話せないといけないと思った。
今後の課題と目標は？	OPは最後なので、次のクラスへ行っても、しっかり練習したい。
JODAへの要望	特にありません。
その他	このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会